

イランをめぐる軍事行動の即時停止と平和的解決を求める決議

本年2月28日、米国およびイスラエルによるイランへの大規模な軍事攻撃が開始され、イランの最高指導者をはじめとする政府・軍関係者、さらには子どもを含む民間人にも多数の犠牲者が生じている。

これに対し、イラン側も報復を名目として湾岸諸国へのミサイル攻撃を断行するなど、報復の連鎖は世界を未曾有の混乱へと陥れようとしている。

今、国際社会に求められているのは、さらなる武力の行使ではなく、対話による平和的な解決である。

よって、大阪狭山市議会は、米国、イスラエルおよびイランに対し、国際法を遵守し、すべての軍事行動を直ちに停止すること、また、日本政府においては、事態の沈静化と交渉による平和的解決に向け、国際社会において主導的な外交努力を尽くすことを強く求める。

以上、決議する。

令和8年(2026年)3月26日

大阪狭山市議会